



AJU 愛実

編集：特定非営利活動法人愛実の会

- ・愛実の会事務所
- ・居宅介護事業所あみ
- ・生活介護事業所障がい者デイセンター愛実
(大地の家／愛実友だちの家／紙風船)

第20号 会報

定価：一部100円

理事長 島しづ子より	・P1
定例会報告／小窓から	・P2
愛実友だちの家のページ	・P3～4
大地の家のページ	・P5～6
紙風船のページ	・P7～10
「待っていてくれて ありがとう」／南 寿樹	・P11
寄付者名簿	・P12

大地の家
「ランの館」



紙風船
「初詣」



愛実友だちの家
「お誕生日会」



2011年度 第4回 定例会 報告

NPO法人愛実の会 5周年記念イベントのお知らせ

日 時 2012年 7月21日(土) 午後2:00~4:00
場 所 名古屋国際会議場 国際会議室にて
(地下鉄:日比野駅または西高蔵駅より徒歩)

「NPO法人愛実の会」発足(2007年1月)から早いもので5年が経過致しました。任意団体の「障がい者・友だちの会・愛実」の誕生から思えば25年(1987~)の月日が流れ、その間に「愛実友だちの家」(1995)・「紙風船」(1996)・「大地の家」(1997)が産声を上げ、それぞれの時を刻んで来ました。今回の記念イベントは、今まで関わってきた関係者の方々を招き、様々な思いを振り返りながら5周年を愛実の会全体でお祝いすることになりました。

そして、将来への新しい一歩となることを願いつつ、定例会の中から更にイベントの実行委員会が設けられ、ただ今準備を進めているところであります。

プログラム等の内容につきましても、検討を重ねながら枠組みが決まって来ました。また、詳細につきましては次回会報にてお知らせいたします。



「小窓から」 14

大野義徳

実家へ帰ると、甥や姪が「おかあさんといっしょ」や「アンパンマン」のDVDや絵本を面白そうに見ている。同じ場面を何度も繰り返しているところを見ると、よほど好きなようだ。子どもならではの微笑ましさの一つなのだろう。

でも、ほとんどの場合、大きくなるにつれて興味も変わっていき、子どもの頃に見ていたものはいつの日か見向きもしなくなる。親にしてみれば一抹の淋しさを感じながらも、これを成長と呼ぶのだろう。

さて、愛実のメンバーの中には、成人してもなお、いわゆる「子ども番組」が好きな方が少なからずいらっしゃる。親御さんがそればかり見せているわけでもなく、ましてや成長が止まってしまっているわけでもなくて、単純にそれが好きなようだ。もう10年ほど前、「大人になってそんな子ども番組なんて」という意見に対してこんなことを言う人がいた。「どうして彼ら彼女らに、その年齢であることを押しつけるの?」と。

異論もあるだろうが、その言葉に何か深いものを感じたのを憶えている。メンバーと接する時、どうして好みや習慣まで押しつけるのだろう。しかも支えるはずの側の人間がだ。成長を期待しつつも、例えば童謡好きな一面を尊重することは大切なことではなかったか。「強い側」の健常者は無意識に障がい者へ価値観を押しつけ、無意識ゆえにそのことに気づかない。悲しむのは物言えぬメンバーだけ、そんなことを無くしていくよう、心のアンテナを張れるようにしていきたい。

愛実友だちの家のページ

(P3~4)

今年の冬は、寒い、寒いと言われ、ここ名古屋でも例年になく雪の積もる日があったり、インフルエンザが流行したり、なかなか厳しい時期でした。

ここ最近、陽射しや空気の匂いの中に少し春を感じることがありますが、冷たい風が吹きすさぶせいか、まだまだ寒い感じがして、外出もためらってしまいます。

そんな厳しい冬はできるだけ屋内で楽しく過ごそうということで、お正月の遊びから、音楽鑑賞など、文化的な活動を中心に取り組んできた様子をご紹介します。

お正月の遊び

あらためまして、2012年初のあみともの活動紹介です。今年もできるだけ色々なことに挑戦していきたいと思っていますのでよろしくお願いたします。

さて、お正月の遊び。まずは毎年恒例の書き初めです。

あみともの書き初めは、その年に頑張りたいことを漢字一文字で、その気持ちを表す色で書く、というのがルール。

メンバーがアシスタントに伝えた気持ちを読み取り、アシスタントが手になって一緒に文字を書き上げます。

今年、みんなが目標にしてくれたのは、前向きの「前」や、伸び伸びがんばりたい＆体がまっすぐ伸びていくようにの「伸」などありますが、中には減量目的の「light」、チャームポイント(?)の舌をもっと強調したいという思いを込めた謎の「舌」という書き初めもあり、メンバー同様、個性豊かなものに仕上がりました。

書き初めの他には、期間限定で設えた愛実神社への初詣や、屋内での羽根つき、去年の活動で創ってきたかるたやすごろく遊びなど、暖かい部屋の中でお正月気分を満喫しました。



アロマでリラックス



デイに来て、多くの時間を車椅子で過ごすメンバー。冬場の手足の冷えは尋常でなく、手袋や靴下を着けていても温まるまではいきません。

アロマセラピーの時間は、アロマコーディネーターの資格を持つアシスタントが、季節やメンバーの体調に合わせたオイルやクラフトを使用し、マッサージやリフレクソロジーで癒しの時間を提供するプログラム。

冬場は膝まで15分しっかり足浴してもらい、手作りのミツロウクリームを使って足裏リフレクソロジーをすることが多いのですが、写真のこの日はオレンジピールやレモンピール、ドライフラワーの入ったお湯で手浴の後、ミツロウクリームでハンドリフレクソロジーをしましたが、香りと温かさにうっとりしてくれて、施術する側も癒されました。

初釜

月1回、言語療法士の茂吉先生に、触感遊びや言葉遊びを楽しませてもらっていることは以前にもご紹介しましたが、年の初めはいつもと趣向を変えて、初釜をしてもらいました。

茂吉先生はお茶の先生でもあり、お道具もお持ちとのことで、にわか茶室を設えての初釜となりました。

ご挨拶の後、まずはお菓子。

メンバーに合わせて、口溶けの良い松露と淡雪を用意してもらったので、いつもよりお行儀良く、そのままバクリ。その後、一人ずつお茶をいただくのですが、お抹茶は初めてではないにしても、やはりメンバーにとっては旨みより苦味が強く感じてしまうようで、渋い顔になる人も。普段、甘いものが好きだと思われているメンバーが、意外にも抹茶をごくごく飲み干したり、みんなが「苦い、苦い」と言うので、いざ、自分の番になってお茶碗が口に触れるのがドキドキして震えてしまったり、反応は様々でしたが、日本の素晴らしい文化に触れてとても良い経験になりました。



音楽三昧

毎年楽しみにしている名フィルのチャリティコンサート。2011年度の演奏会が台風で中止となってしまい、がっかりしていたところ、代替公演のお知らせをもらったので行ってきました！

今回は吉田行地氏の指揮で、ピチカートポルカやハンガリー舞曲などリズムカルな名曲をステージの真ん前で聴くことのできたラッキーなメンバーもいましたよ。

このコンサートのお楽しみは、本格的なオーケストラを気軽にゆったり聴かせてもらえることに加え、楽器紹介やみんなでオーケストラに合わせて歌う生オケがあることだと思っておりますが、今回は「森のくまさん」「犬のおまわりさん」「ぞうさん」「アイアイ」など、みんなが大好きな曲を思い切り歌えて、どのメンバーもニコニコでした。

愛実の会のすごいところの一つに、一流の演奏家の方々が愛実の会に来てくれて演奏をしてくれる、ということがありますが、2月はこの名フィルコンサート以外に、デイセンター内でフォルクローレの楽器ケーナ、ハンドベル、ピアノの演奏会があり、正に贅沢、正に音楽三昧でした。

ケーナという楽器は初めて生で耳にしましたが、コンドルは翔んでいくなどフォルクローレの曲に用いられる、山々に吹く風のような優しい音がする尺八のような楽器でした。

メンバーの体にもじわっと優しく染み込んだようで、みんなうっとり耳を傾けていました。

また、毎年恒例となりつつある南山幼稚園の保護者の方々によるハンドベル演奏会は、一段と綺麗な音色で、アンコールが出るほどでした。

月に一度、理事長の活動では、プロの演奏と名画名品のスライドがコラボ。どんどんみんなの耳と目が肥えていきます。

次はどなたの演奏会なのか、次回が楽しみです！これをお読みの方で我こそはという方がいらっしゃったら是非、一度遊びに来て下さいね。お待ちしております☆



名フィルチャリティ
コンサート↑



木鳴さん
のケーナ
演奏←



南山幼稚園
ハンドベル演奏↑



島さんの活動↑
～中山静雄とロダン～



大地の家のページ

(P5~6)

餅つき&忘年会

今年の冬は寒く、降雪のため休所になってしまった日もありましたが、大地の家のメンバーは体調を大きく崩すこともなく、いろいろな活動に挑戦しながら楽しく冬を乗りきることができました。

もう去年のことになってしまいますが、年末には初めての試みとして、お餅つき&ご家族の方も招いての忘年会を行いました。近隣の小学校より石臼ときねをお借りし、大地の家のデイ部屋は本格的な餅つき会場に大変身。今回用意したもち米はなんと六升分ということで、メンバーもアシスタントも気合い十分です。

早速ペタンといきたいところですが、まずは下準備から。温めた石臼に蒸したもち米を入れ、きねの先でお米をすり潰していきます。ボランティアで駆けつけてくださったドライバーさんとアシスタントが、石臼の周りをぐるぐる回りながら頑張ってくれました。力と根気のいる作業…メンバーも応援しながら見守ります。

粒もなくなり、つきやすくなったところでメンバーにバトンタッチ。アシスタントと一緒にきねを振ります。子ども用のきねとはいえ結構重たく、一振りするだけでも一苦労。一回一回に思いと気合いをこめ、力強くお餅をつきました。初めての餅つきに緊張気味だったメンバーも、周りからかけられる「よいしょ！」の掛け声や声援に徐々に笑顔に。その後も、ご家族のみなさんやドライバーさん、あみとも・紙風船メンバーなどが順々についていき、無事お餅が完成。つきあがったお餅の成形はメンバーのお母さん方が手伝ってくれました。あんこ、きな粉、大根おろしの三種類の味で、つきたてをいただきます。まだ温かさの残る柔らかいお餅はとても美味しかったですよ。少しお米の感じが残っているのも、自分たちでついたお餅ならではの味わいです。一部メンバーはご家族の介助でお餅を試食。お餅を食べることが難しいメンバーも、手作りあんこに舌鼓を打ちました。

餅つき終了後は土鍋を設置し、今度は餅つき会場から忘年会会場に様変わり。ノンアルコールのビールやカクテルを手に、みんなで乾杯しました。この日も寒い日だったため、みんなでアツアツのお鍋をつついて温まりました。クリスマス会のときにもご家族の皆さんと一緒に昼食を摂るのですが、今回は同じお鍋をみんなで取り分け合ったりすることで、今までより距離感も近く、新鮮に感じました。メンバー宅から差し入れていただいたお野菜と、アシスタントが前日から準備したふわふわの鶏団子たっぷりのお鍋はボリューム満点。お餅を食べたばかりでしたが、×にはうどん、雑炊まで満喫し、お腹も心も大満足の一日となりました。



いちご狩り



だんだん日射しも暖かくなり、寒い冬にも終わりが近いことを感じられる2月末、いちご狩りに行ってきました。

味覚狩りといえば、一昨年の遠足でみかん狩りを体験した大地メンバー&アシスタント。雨が降ってぬかるんだ山道を、必死に車椅子を押して歩いたことを思い出します。今回はどうなるのだろうと、期待と不安を胸に抱きつつ、名古屋市港区のいちご畑さんに向かいます。



デイセンターから車を走らせること数十分…到着してみると、不安も吹き飛ばすくらいの綺麗な施設でした。心配していた地面もビニール張りのため、車椅子メンバーでも楽に移動することができました。また、高設栽培という方法でいちごを育てているそうで、車椅子に乗ったメンバーの目線とほとんど同じ高さいちごがなっていました。赤く熟したいちごがたくさん目の前にあるのを見て、メンバーは興味津々。「どれがいい?」と問いかけて、それぞれに食べたいいちごを選んでもらいました。「この中で一番大きいいちごを探したい!」と意気込むメンバー、「熟した美味しいいちごがいいわ」と言うメンバー、「たくさんありすぎて迷っちゃうよ〜」と少々困惑気味なメンバーなど……メンバーそれぞれがいろいろな価値観を持っていておもしろく感じました。



熟したいちごは甘く、食べやすい味だったようで、小食のメンバーたちもパクパクと調子よく召し上がりました。中には20個以上をペロリとたிரらげたメンバーもいて、アシスタントを驚かせていました(もちろん、その後の昼食も完食されました)。



ただ…この日はとても天気が良かったため、ビニールハウス内の温度は23℃。日射しが直に照りつけてくるため、さらに暑く感じました。スタッフの方いわく、その前の日は「コートがいるくらい寒かった」そうですが……。大地の家のお出かけは幸いにもいつも好天に恵まれます。暑がりなメンバー&アシスタントは冬にも関わらず汗ばんできてしまい、制限時間の30分を待たず早々と切り上げました。今度温室に行くときはもう少し寒い日に来たいね、と贅沢なことを思ってしまう大地の家メンバー&アシスタントでした。



日々の活動の様子など随時更新中です♪
大地の家のブログ <http://ameblo.jp/daichi-no-ie/>

紙風船のページ

(P7~10)

メンバーよりあいさつ

2012年も、もう3ヶ月が経とうとしています。

今年の冬は寒い日が続いていましたが、だんだんと春の足音が近づいているのを感じます。今年度は月に1度のペースで公演があったり大阪旅行に行ったりと忙しくもありましたが、有意義な1年でした。来年度も皆さんよろしくお願いいたします！！

それでは、来年度の意気込み&今年度最後の活動をご紹介します。S, N

S, N

新年会



1月に新年会を行いました。

今回のテーマは「初笑い！」みんなで、たくさんお腹から笑おう！という思いでこのテーマにして行いました。

午前中は、かくし芸大会！ものまねやトランプマジック、沖縄の三味線やギター、鉄きん演奏、手作り紙しばいや変装カラオケなど盛りだくさんでした。みんなの思いもよらない隠れた特技にビックリ！時に笑ったり、時には演奏に聞き入ったり、いつもとは違う雰囲気、みんなとってもおだやかな表情を浮かべていました。

午後は、吉本新喜劇のDVD鑑賞を行いました。

やっぱり吉本はいつ見ても面白いですね！！みんな次から次へと出てくるネタに大爆笑でした。

こうして、テーマのとおり紙風船ではみんなで笑って、新年を素敵な笑顔でスタートする事ができました。

月一会 朗読会

今回の月一会のテーマは「朗読会」。ゲストとして2月に公演でお世話になった「おはなし会ZOO」のみなさんに来ていただきました。

ZOOさんは、南区を中心に町おこしの一環として、児童館をはじめ図書館などで読み聞かせをされているボランティアグループです。

午前中は、絵本の読み聞かせ、手あそび、大型絵本、エブロンシアターなど盛りだくさんの内容でした。どのお話もとても面白く、身近なこと、世界的な問題などいろんな視点から考えさせられる絵本もありました。またエブロンシアターで題材となったのは「はらぺこあおむし」。紙風船の「モコちゃん」はこの絵本を題材にしているので、メンバーは懐かしく嬉しそうな様子。ミュージカルのような歌に合わせてアレンジされていた「はらぺこあおむし」はとても愉快で楽しい世界が表現されていて、とっても素でした。

そして、午後は金子みすずさんの「こだまでしょうか」をみんなで朗読しました。いろんなペアでこだまをしあい、それぞれ個性豊かな掛け合いを表現することができ、とてもおもしろかったです。

ZOOさんでは、「絵本は子どもだけのものではない。言葉が少ない分、想像力や思考力を刺激する奥深い世界で、大人も楽しめる」と考えているそうです。

まさに、それを実感することができたとても貴重な時間となりました。



来年度の紙風船

今年のテーマは「月一回は公演しよう！人形劇を通してたくさんの人と交流しよう！」でした。現在紙風船では、2012年度に向けてどんな一年にしていこうかとメンバー、アシスタントで計画を一つずつ進めています。今年度14回の公演をすることができ、なんとか目標は達成できましたが、交流や自分たちから発信していく点においてはまだまだでした。来年度の公演目標はなんと年36回！これは、新作を各作品月に一回は公演したいという思いからです。大きな目標に向かって、どれだけ近づいていけるか。また一つひとつの公演をどれだけ意味あるものにしていけるか、今後の大きな課題です。いろいろ考えると不安もいっぱいですが、これからの夢やワクワクした事を思い浮かべ、楽しみながら来年度に向けて今後も計画をしていきたいと思ひます。

来年度の公演に向けて ～メンバーの思い～

たくさん宣伝活動して
もっといろんな人と
交流していきたいな！

人形劇ガンバロウ！
来年度もどんどん公演
していきたい！

人形劇たのしいです☆
お客さんに喜んで
もらえて嬉しいな☆

来年も楽しい公演を
やっていけたらいいな☆
健康に気をつけて、
やっていきたい！

もっといろんなところで公演
がしたいなあ！地方公演もい
けたらいいな☆



<メンバーの思い>

「劇の中と道具箱の中にいる間のしし丸」

成田憲彦

劇ではしし丸は僕といつも一緒。強がる事で自分は簡単に弱さを見せずにいる。強く見せなくたって、ホントの自分でいればいいじゃないか。僕は彼と一緒にいる事で、そのお手伝いをしている。正しいのか間違っているのか、僕も考えてあげていつも人形劇の舞台上で一緒に行動し、カメ助やウサピーに答えを出している。それを見て、お客さん達はいつもどう感じ、どう思っているんだろう？稽古や人形劇が終わり、カメ助とウサピーと一緒に、しし丸も道具箱に戻る。でも、僕のいない時のしし丸ってどうしているのかな？一緒にいる時の君しか知らない。僕のいない時でも、僕と一緒にいる時の君が僕はいいな。

<協力者の思い>

「大好きな 紙風船」

藤本紀代子

「なんて優しい時間の流れているところなんだろう」と、思ったのが紙風船の第一印象です。紙風船は思った以上でした。優しい時間に加え、毎日、笑いあり涙あり（！？）のとても素敵な所です。その上、紙風船といえばやはり「人形劇」。ひとたび人形劇の練習となれば空気は一変します。皆、真剣そのものです。メンバー、アシスタント、それぞれ人形劇にかける想いは情熱的で一生懸命！「次こそは！今度の公演に向けて！」とそれはそれは凄いパワーです。そのパワーと、皆の想いがひとつになり、今後さらにより良い人形劇へと進化していく事でしょうね。楽しみです。そんな熱い練習が終わると、またいつもの～んびり楽しい笑い声のたえない紙風船に戻ります。そして優しい風につつまれます。そんな紙風船が大好きです。これからも、人形劇を通して、こんなに素敵な紙風船を沢山人へ届けてください！いつまでも応援しています！

【公演だより】

第135回 2012年2月4日(土) 南区ボランティア連絡協議会 ふれあい広場事業 「かめさんのありがとう」

会場は南区役所の5F研修室、舞台を作るとお客さんのスペースはイス15脚ぐらいと、こじんまりとしたお部屋でしたが、開演前には立ち見も出て会場がいっぱいになりました。初めにおはなし会ZOOさんの朗読会で盛り上げていただき、温かい雰囲気の中で私たちの人形劇を観ていただくことができました。ほしいところで拍手をもらい、会場と一体となりメンバー一人ひとりが生き生きと役を演じ切っていました。

公演が終わった後もお客さんたちと一緒に写真を撮ったり、身近に触れ合うことができ、今までにない新作ならではのアットホームな公演となりました。

第136回 2012年3月4日(日) 愛知人形劇センターセラピー企画 「ぼくたちにできること」

セラピー企画での公演という事もあり、お客さんは養護学校の教員の方や親の方、また重度の障がいのある方と人形劇の活動をされている施設の職員さんなど福祉に携わる方々が多数来て下さいました。人形劇の後はパネルディスカッションがあり、活動の事などをメンバー、アシスタントの代表も前へ出てお話しする時間をいただきました。もっとたくさん紙風船の事をアピールできたら良かったのですが、限られた時間のなか、緊張もあり、なかなか思いを全部伝える事は難しかったです・・・。けれど今後いろんな場を借りて自分たちの活動をアピールしていく良い経験の一つになったのではと感じています。



来年度の公演予定

- 5月23日(水) 西区保育士会総会にて 18:30～
「ボンタとたっくん」 & 「かめさんのありがとう」
- 7月21日(土) NPO法人愛実の会5周年記念イベント 演目未定
- 8月 7日(火) 訪問教育全国大会にて 詳細未定
- 8月18日(土) 北なごやパペットフェスティバル「ボンタとたっくん」

詳しくはホームページをご覧ください ☺

夢づくり基金より鏡を購入しました！！

紙風船では以前から練習用に「大きな鏡があったらな～」とよく話していました。そこで、今年度夢づくり基金にたくさんのご寄付をいただき、やっと念願だった鏡を購入することができました！

これから鏡を使った練習をどんどん取り入れ、人形の表現や小道具の動きを研究し、もっともっといい作品にできるようにしていきたいと思えます。皆様のご支援に感謝いたします。ありがとうございました。

今後とも引き続きの夢づくり基金へのご支援をよろしくお願いたします。

鏡の前で整列！
人形の動きを確認中！



待っててくれて ありがとう

南 寿 樹

「あしたをつかめ—平成若者仕事図鑑」というNHKの番組がある。いろいろな仕事に就いた若者を追いかけての30分のドキュメンタリー番組である。その番組の録画(150ほど)が私の学校では好評で、「職業」の授業で時々教材として使っている。毎回、その仕事の苦しさと同時に楽しさ、やりがいを紹介され、番組の最後に「初任給18万円」などと具体的な数字が出る。それを予想して当てっこをするのもみんなは楽しみにしている。

さて先日、「保育士」を見ることになった。「小さい子の面倒を見たい」という美佐江(高1)のリクエストだ。保育士と言っても、その番組は「男性の保育士」を取り上げていた。

ミックン先生と呼ばれて大人気の若者の苦闘の日々——先輩職員が読み聞かせをすると身を乗り出して園児がのってくるのに、自分だと園児たちは勝手に遊びだしてしまう。けんかの仲裁に入ってもうまくいかず園児たちの怒りは収まらない…(どうすればいい?)…ミックン先生は先輩だけでなく大学時代の先生や園児のお父さんにも相談して乗り越えていく。いや乗り越えるというより自分を変えていく。——

「お父さんたちと夜その保育園でお酒を飲んで懇談会をするのがすごい自由だと思った」「絵本の読み聞かせが上手になって良かった」「たいへんそう」・・・などが生徒たちの感想だ。

私自身はミックン先生の「**子どもを自分の物指しで見ないこと**」という言葉に共感した。ただ一方的に絵本を読むのではなく、園児に語りかけその心の中をイメージしながら微笑みに共感する。けんかがあった時に大人の感覚で「けんかは悪いこと。はい仲直りして。握手」などと収めるのではなく、「どうしたの?」と丁寧に聞き取りをする。——それは技術ではない。「子どもが分かるとは、子どもの内面が分かること。教師の発達は自己変革を伴う」(竹沢清)そう考えると、保育士であれ教員であれ自分を変えるその実の師は、子ども自身なのであろう。

ここで以前にも紹介した写真絵本「子どもと森へ出かけてみれば」(小西貴士)のワンシーン(11月21日の日記)を紹介したい。

—— ねえ そろそろ 帰りませんか

—— これで 最後にしませんか

そんなことばを のみこんで

—— いちばんぼし 出たねえ

—— 夜の国のおひめさま みたいだねえ

と やさしく話しかけていたら

—— 待っててくれて ありがとう

と ふたばちゃんが いいました



NPO愛実の会 寄付者名 (順不同・敬称略)

2012年12月1日～2012年2月29日

★賛助会費

武嶋恵子 田中綏子 寺田仁計 町田玲子 河村比佐子 上野 嶺 鈴木善文・都
 中山奥行 松浦孝夫 阿部健二 吉田 弘 成瀬絵里子 小田 泉 佐藤正幸・純子
 柴田京子 佐藤雅美 伊藤和昭 須田静代 長谷川耕司 三浦 豪 山田シマ子
 鈴木善和 楽有紀美 水谷真子 湯元睦美 石崎亮史朗 山中 高 小薄満寿美
 早川教示 岡本恵子 西川道子 浅野幸治 前山美恵子 堀部 充・操子 森豊
 渡辺徹朗 田村芳江 間瀬滝子 河合みち子 名古屋キリスト教社会館

★紙風船

南 寿樹 岡田佳子 西川道子 石井昌也 成瀬絵里子 小薄満寿美 中森照子
 田村芳江 大矢洋恵 伊藤純一 岡本恵子 河合みち子 前山美恵子 中森由哉
 早川門呂 大坂晴一 佐藤雅美 竹山 徹 石崎亮史朗 木村圭吾・由美子
 宮地 操 宮原祐子 酒井淳子 鈴木善和 長谷川耕司 田中正文・孝子
 水谷真子 早川教示 上野 嶺 鈴木善文・都 森豊 和久井由利恵

★寄付・その他

徳永五郎 川添 勉 下村徹嗣 柏木 実 伊藤まり子 青本和彦・光子 堤肇
 宇野伸一 橋詰四郎 鶴崎祥子 伊藤和子 前山美恵子 村上貴久・裕子 森豊
 牛田ヒサ 脇田純子 南 寿樹 木村 純 溝口キミ子 鄭 成子 ウォーカーソン
 坂口良彬 渡辺千夏 小池耕一 増田ゆき 榊原喜代子 佐藤義子 イエローシート
 宮崎正和 加藤久雄 河野トミ 越前武久 三矢かな江 尾関静枝 栄冠幼稚園
 余越智子 比企敦子 坂田昌子 岩崎武男 高橋佐喜男 須田静代 名古屋YWCA
 国方恵子 足立克己 奥山喜正 島 一郎 山田シマ子 武井陽一 木下忠司
 石田周介 真木芳子 水谷真子 岩田 妙 中村弥栄子 三浦 豪 伊藤あつ子
 早川教示 水野享好 大村恵子 森山昭雄 小薄満寿美 中森照子 見木靖美
 戸田真二 梅村亜恵 大薮礼子 島しづ子 津田加代子 中森由哉
 中京教会 鳴海教会 名古屋中央教会 矯風会名古屋 捜真女学校高等学部・中学部
 豊田教会 愛知教会 豊明新生教会 知多奥田キリスト教センター
 尾陽教会 彦根教会 初島聖十字教会 日本キリスト改革派金沢教会
 刈谷教会 広路教会 名古屋新生教会 南山幼稚園・南山ファミリーYMCA
 大野教会 御器所教会 名古屋新生教会教会学校 在日大韓基督教会小倉教会
 華陽教会 各務原教会 済美高等学校宗教部 埼玉新生教会女性の会
 豊山教会 久が原教会 日本福音ルーテル復活教会 京都みぎわキリスト教会

★土地・建物

南 寿樹 伊藤和子 真木芳子 水谷真子 小薄満寿美 三浦 豪 前山美恵子
 渡辺徹朗 堀部 充・操子

★物品寄付

セカンドハーベスト名古屋 伊藤あつ子

ご協力ありがとうございました。

引き続きのご支援よろしくお願い致します。

任意団体「障がい者・友だちの会・愛実」受付分(順不同・敬称略)

2011年12月1日～2012年3月1日

◆「寄付金個人・教会」

教団・刈谷教会 塚田多佳子 ヨナワールド家族会 門山勝利・むつ子 原田忠
 近藤洋 塩田はるな 豊橋教会ひつじの会 教団・聖天伝道所
 高蔵寺ニュータウン教会 臼田治子 改革派・八事伝道所 伊藤秀章 宮川優子
 渡井秀雄 塚田正昭 在日大韓基督教・大阪教会女性会 愛知守山教会女性の会
 岡崎茨坪伝道所 中部学院大学宗教委員会 前沢まき代

◆「賛助会費個人」吉谷尚之(複数回)

愛実の会ボランティア訪問の方々(1月～3月)

木嶋悦寛様(ケーナ奏者) 南山幼稚園保護者様(ハンドベル演奏)
 中山静雄様(ジャズ演奏) 齊藤繁美様(マジックショー)

2011年度アシスタント退職のお知らせ

金元秀美 林 貞次 木村華子 藤本紀代子 金城希久江 黛 八郎 佐藤昭信
 河原裕子(清掃、数日介護パート)

長い間お世話になり、本当に感謝しています。
 これからの皆さまのご活躍心よりお祈り申し上げます。

【所在地・連絡先】**特定非営利活動(NPO)法人 愛実の会**

- 居宅介護事業所あみ(ホームヘルプ)
 障がい者デイセンター愛実(生活介護)

〒455-0021 名古屋市港区木場町9番24
 TEL: 052-693-5897 FAX: 052-691-7889
 E-mail info@aminokai.com
 ホームページ http://www.aminokai.com

「NPO愛実の会」ご支援のお願い

郵便振替 座番号 00850-6-187490
座名称 特定非営利活動法人 愛実の会

- ◆ 賛助会費・寄付金 NPO愛実の会の活動に対しての費用
 ◆ 土地建物取得 将来のNPO土地建物取得費用
 ◆ 紙風船夢づくり 紙風船の人形製作費、公演活動に関する費用

1口1,000円 何口でも結構です。
 ご支援していただける項目を振込用紙に記載の上ご協力お願いいたします。

※ 年2回(夏号と冬号)に「振込料金加入者負担」の「払込用紙」を同封させていただいています。
 ご利用下さい。